

# 循環型社会への貢献

自然の恵みである農畜水産物を加工し、商品づくりをおこなう企業として、自然に感謝し、その恩恵を永遠に享受できるよう、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

## 食品ロス削減への取り組み

### 製造過程で発生する食品残さをアップサイクル

当社では、製造過程で発生する食品残さを、より価値の高いものに生まれ変わらせる「アップサイクル」の検討を進めています。その取り組みの中で、独自の発酵技術を持つスタートアップ企業との共同開発によりオリジナルウエットティッシュを作製しました。これは製造過程で発生する食品残さを日用品にアップサイクルした、当社初の事例となります。これからもフルーツを無駄なく活用し、環境への配慮を実現する試みを続けてまいります。



### ジャム製造時に発生する食品残渣をエコフィードに活用

ジャム・ママレード等の製造過程で発生する食品残さをエコフィード\*として活用しています。飼料用として、製造品の切り替えや製造終了時に配管に残るなどして発生する残さを活用します。この取り組みによりジャム製造時の食品残渣約17%を有効利用できました。(2024年4月~2025年3月までの実績)  
\*エコフィード=食品残さ等を利用して製造された飼料



### メタン発酵発電に食品残さを活用

2024年4月より動植物性残さの引取り先を、堆肥化処理からより環境に配慮した処理を行う施設へ変更しました。工場の事業活動で発生した残さは、処理施設にてメタン発酵発電燃料として使用されます。この処理方法では、動植物性残さをメタン発酵させることで、バイオガスを生成し、それを燃料として発電を行います。この過程で発生する熱を有効活用するとともに、発酵後の残さは肥料として利用できます。この取り組みは環境負荷低減への取り組みの一環であり、持続可能な社会の実現に向けた重要なステップだと考えています。今後も、環境に配慮した事業活動を推進してまいります。



## プラスチックごみ削減への取り組み

「アラハタ 55」リニューアルに伴い、使い切りニーズに対応してスティックタイプを新たに発売しました。外装袋には環境に配慮し、紙素材を採用しています。また、工場で使用する原料容器の資源循環やポリ袋の減量化など、製造工程におけるプラスチックごみの削減にも取り組んでいます。



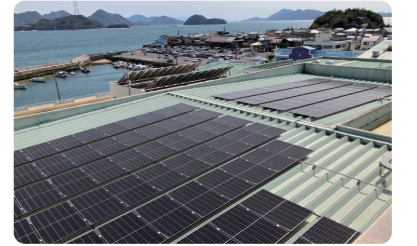
## 2024年度の環境目標と実績

課題・テーマ	項目	管理指標	基準年度	2024年度	
				目標	成果
地球温暖化の防止	CO <sub>2</sub> 排出量	CO <sub>2</sub> 原単位	2023	100%以下	95.8%
資源の有効利用	エネルギーの削減	原単位		99%以下	95.9%
	使用水の節約	原単位		100%以下	97.6%
循環型社会の形成	排出物の削減	排出量		100%以下	114.7%
	排出物の再資源化の向上	再資源化率	100%以上	100.7%	
	排出物の有価率の向上	有価率	100%以上	107.1%	

## CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けて

### 太陽光パネル設置

脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一つとして、ジャム工場F2プラントにオンサイトPPA方式で太陽光発電設備を設置しました。設置により年間約50tのCO<sub>2</sub>排出量削減が見込まれます。発電された電力は全て工場内で使用され、発電容量は1日あたり76kWと、一般家庭約20軒分の電力使用量に相当します。また、太陽光パネルが屋根への直射日光を遮ることで、室内温度の上昇を抑える効果も期待できます。



### カーボンサーキュラープロジェクト 「CO<sub>2</sub>の削減と農業生産性向上」

■CO<sub>2</sub>回収装置  
大気中からCO<sub>2</sub>を新規多孔性材料MOF(Metal Organic Framework)で回収し、イチゴ育成過程にその回収したCO<sub>2</sub>を供給することで、イチゴの生育を促進し、収穫量を増やす取り組みをスタートさせました。大気中のCO<sub>2</sub>を削減するとともに、イチゴの収穫量を向上させ環境にやさしい、新しい農業モデルの構築を目指しています。



■『CHANCE(広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会)』へ加入  
2025年2月に広島県が推進する『CHANCE(広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会)』へ加入いたしました。(2025年3月19日現在:164会員)  
『CHANCE』は、広島県がCO<sub>2</sub>削減とカーボンリサイクルの先駆的な研究開発拠点の形成と、技術の社会実装を推進するために設立した協議会です。地球温暖化対策という喫緊の課題に対し、産学官の連携を活かしながら、持続可能な社会の実現に向けて積極的に活動してまいります。  
HP ▶ <https://hcce.jp/>

## 地域への環境配慮と法令順守

### グループ環境監査の実施

キュービーグループ全体で環境保全に積極的に取り組むため、年に1回「グループ環境監査」を実施しています。この監査は、工場の担当者と環境監査員が共通の認識を持ち、相互理解を深めることを目的としています。監査では、幅広い環境関連項目を確認し、リスクの未然防止と環境管理レベルの向上に努めています。

### 廃棄物の管理

廃棄物委託業者は「一般廃棄物」「産業廃棄物」「特別管理産業廃棄物」それぞれの該当許可を有するものから選定し、契約締結時には現地確認で問題のないことを確認しています。当社では、産業廃棄物の収集運搬・処分委託契約を各々の業者と契約しており、適正な処理の義務と責任および第三者への再委託の禁止を明記しています。また、当社の担当者が産業廃棄物の主要な委託業者の現地確認を年1回以上実施しており、製品の廃棄時には、製品の積み込みおよび委託先での製品処分時に立ち会っています。マニフェストの作成および管理は、特別教育を受けた特定の管理者のみに限定し、廃棄物の処理および清掃に関する法律に則った抜けのない管理に努めています。

### 環境関連法令順守と苦情の状況

2024年度中のアラハタグループの事業活動における行政処分を伴うような法令、条例等の違反行為はありませんでした。